

7月 下旬

## 令和2年東京都中央卸売市場青果物販売概況

### 1. 全体の販売概況

開市日 8日(前年比 +1日)

入荷量 :51,688トン(前年:48,773トン 106%)      kg単価 :367円(前年:280円 131%)      ※数量・kg単価は野菜、果実の合計

7月下旬は、降雨・曇天の影響により、開市日あたりの入荷量で比較すると前年比93%と減少となっている。

ねぎは東北・北海道産が降雨続きで掘り取り作業が遅れ気味で、総体量の減少から引合が強まり強保合となっている。

とうもろこしは関東産の露地作は長雨の影響で、倒伏や腐敗による廃棄が多くなっており、出荷数量の減少や端境が起きている。東北産、北海道産の出荷が増える8月10日ごろまでこのような状況が続く見込みとなっている。

### 2. 埼玉県主要品目の販売概況(東京都中央卸売市場)

| 品目  | 項目       | 7月下旬<br>東京都中央卸売市場販売実績 |     |      | 今後の見通し<br>(8月上旬～<br>8月中旬) |    | 出回り<br>主力産地 |    |    | 摘 要        |   |
|-----|----------|-----------------------|-----|------|---------------------------|----|-------------|----|----|------------|---|
|     |          | 本年                    | 前年  | 前年比  | 入荷量                       | 価格 |             |    |    |            |   |
| 小松菜 | 入荷量(t)   | 411                   | 367 | 112% | 入荷量                       | ↓  | 茨城          | 群馬 | 埼玉 | 7月下旬<br>結果 | 茨城産中心に群馬・埼玉産の加わった出回りとなった。茨城産は降雨・曇天により品質の低下が若干あったが、1日当たりの入荷量は前年並みの推移となった。群馬産は準高冷地作が増量となり県全体量は増加した。販売は若干高悩みで相場を下げたため、価格は茨城産AM袋で前半100円から後半は80-70円と下げ基調で推移した。                                   |
|     | 価格(円/kg) | 420                   | 226 | 186% | 価格                        | ↑  |             |    |    | 55%        | 22%   |
| 枝豆  | 入荷量(t)   | 575                   | 548 | 105% | 入荷量                       | ↑  | 群馬          | 秋田 | 新潟 | 7月下旬<br>結果 | 群馬・秋田産中心の新潟・埼玉産を加えた出回りとなった。群馬産の平場作は終盤、準高冷地作は降雨・曇天によりやや遅れており県全体量は7月中旬より減少となった。秋田産は播種後の天候不良によって極早生作の生育が遅れたため、早生作と出荷開始時期が重なり、荷余り感のある販売となった。価格は、埼玉産AM袋(300g)で前半150-130円から後半は130-120円と下げ基調で推移した。 |
|     | 価格(円/kg) | 759                   | 678 | 112% | 価格                        | →  |             |    |    | 35%        | 21%   |

| 品目 | 項目           | 7月下旬<br>東京都中央卸売市場販売実績 |       |      | 今後の見通し<br>(8月上旬～<br>8月中旬) |    | 出回り<br>主力産地 |    |    | 摘 要        |  |
|----|--------------|-----------------------|-------|------|---------------------------|----|-------------|----|----|------------|--|
|    |              | 本年                    | 前年    | 前年比  | 入荷量                       | 価格 |             |    |    |            |  |
| なす | 入荷量<br>(t)   | 971                   | 1,022 | 95%  | 入荷量                       | →  | 群馬          | 栃木 | 茨城 | 7月下旬<br>結果 | 群馬・栃木産を中心とした出回りとなった。関東産は梅雨前線による降雨・曇天により増加ペースは鈍く1日当たりの入荷量は昨年より大幅に減少し、価格は前年比138%と高値で推移した。価格は、上旬の前半は栃木産AMバラで3,000-2,800円、後半は高値疲れもあり2,600-2,400円と下げとなった。 |
|    | 価格<br>(円/kg) | 562                   | 407   | 138% | 価格                        | →  |             |    |    | 43%        | 29%  |
| なし | 入荷量<br>(t)   | 450                   | 425   | 106% | 入荷量                       | ↗  | 福岡          | 佐賀 | 千葉 | 7月下旬<br>結果 | 福岡・佐賀産に千葉産を加えた出回りとなった。福岡・佐賀産はそれぞれ7月24日、7月25日販売より5kg箱から10kg箱に切り替わった。また、局地的な降雨により収穫遅れが一部でみられた。価格は、佐賀産5kg(16玉)で3,800円からはじまり、10kg(28玉)5,800円の弱保合で推移した。   |
|    | 価格<br>(円/kg) | 565                   | 509   | 111% | 価格                        | ↘  |             |    |    | 27%        | 25%  |

### 3. 今後の見通し

梅雨の長雨により葉物・洋菜・葉茎菜・果菜等、多くの品目で生育は不良となっている。葉物は軟弱徒長気味であるため、梅雨明け後の晴天・気温上昇で傷みの発生が懸念される。長野産の洋菜・葉茎菜類は出荷量の減少は梅雨明け後も暫く続く見込み。レタス、サニーレタス・グリーンリーフ、白菜等の品薄状態の解消は盆前後となる。きゅうりは東北産が梅雨明け後に数日間の晴天が見込まれるため、盆前頃には入荷量は増加となる。関東産のなすは花落ちにより着花量が少ないため、盆前までは増加ペースは鈍い見込み。

愛知産露地いちじくは平年並みの生育で7月末に各産地出揃い、8月20～25日頃に出荷ピークに入り潤沢な出回りが予想される。7月の降雨量が多いため、肥大は良好で大玉傾向で2L・3Lの発生が多くなる見込み。